**テーマ「第25期指定民児協　活動概要の紹介」**

●熊谷市

第６地区民生委員児童委員協議会　会長　田村　裕一

写真「会長写真」を挿入

＜地区の概況＞

【人口】２４，２０７人（R6.1.1 現在）

【世帯数】１１，００５世帯（R6.1.1 現在）

【地区の特徴】

熊谷市西部に位置し、大型市営住宅や新興住宅街があり、人口が密集している。農業用排水池である沼の自然を生かした別府沼公園は、地域住民の憩いの場となっている。

【単位民児協の構成】

民生委員・児童委員　２８名

主任児童委員　２名

**活動の強化推進**

**地域福祉の向上を目指して**

毎月第１火曜日には定例会を開催し、地域の福祉向上に努めています。定例会では、市（事務局）や社会福祉協議会からの報告や依頼事項の伝達、民生委員同士の意見交換を行います。第１部は報告や依頼事項の確認、第２部は民生委員が主体となり、議事進行や研修、意見交換を実施しています。また、市内外の福祉施設の視察や子育て応援サロンへの参加、自治会と連携した防災訓練なども行っています。

写真「活動風景（研修）」を挿入

**見守り活動の強化**

**１年目の取り組み**  
熊谷市長寿いきがい課と連携し、地区に居住する単身高齢者約280名に対し、見守りメッセージ付きのハンドソープを配布しました。また、高齢者ワクチン接種の予約サポートも行いました。

**２年目の取り組み**  
引き続き長寿いきがい課と連携し、単身高齢者279名に見守り訪問を実施。うち212名には「花の苗（パンジー、ビオラ）」を、67名には「カイロ」を配布。配布には地区の中学校生徒が作成した「単身高齢者へのメッセージ」を添付し、地域とのつながりを強化しました。

写真「花の苗」を挿入

**民児協の連携強化**

**課題と対策**

新型コロナウイルス感染症の流行により、住民とのコミュニケーション不足や情報伝達の効率が低下しました。これに対し、以下の取り組みを行いました。

**連携強化**

* 定例会や研修での意見交換の場を設け、委員同士の不安解消に努めました。
* 令和３年度からはLINEを導入し、定例会等行事の連絡、出欠確認、資料配布、会議のオンライン開催を可能にしました。

**成果**

* 感染症拡大防止の観点から限られた時間ではありましたが、委員同士で「悩み」や「不安」を含めた意見交換を行い、単身高齢者見守り事業の打合せも実施しました。これにより、委員の活動における不安解消に繋げました。
* 生徒と高齢者の交流が生まれ、地域とのつながりが強まりました。

**今後の抱負**

当地区は歴代欠員のない地区ですが、委員の高齢化により後継者探しが重要課題です。地域行事に積極的に参加し、地域住民とのコミュニケーションを大切にすることで、後継者を見つけることを目指しています。